

# 長島有里枝

## そして Nagashima Yurie

# ひとつまみの皮肉と、

# 愛を少々。 And

## a Pinch of Irony

## with a Hint of Love

会場：東京都写真美術館 2階展示室

2017年9月30日[土] — 11月26日[日]

開館時間：10:00-18:00 (木・金は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで

休館日：毎週月曜日(ただし10/9[月・祝]は開館し、10/10[火]は休館)

観覧料：一般800(640)円、学生700(560)円、中高生・65歳以上600(480)円

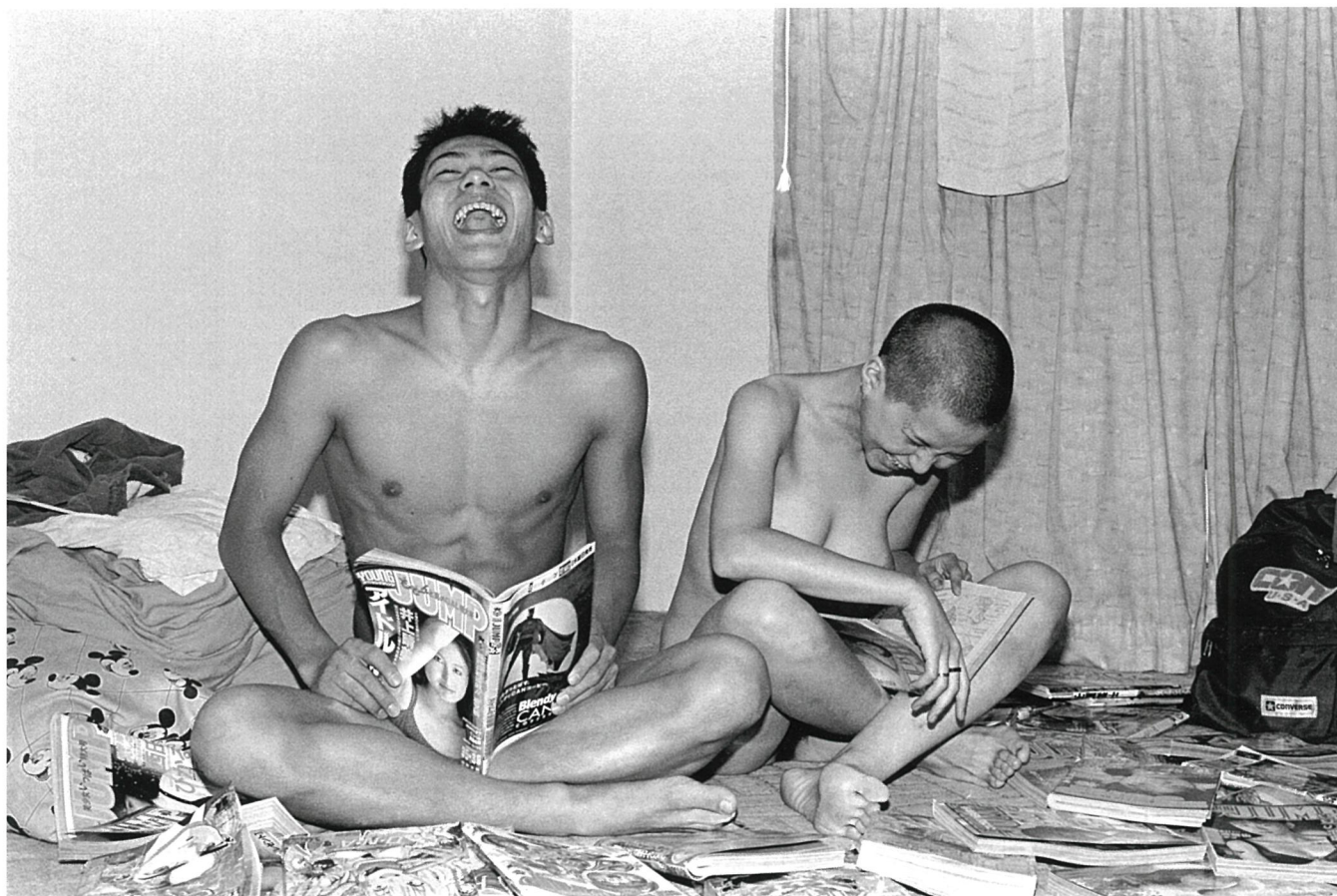
※( )は20名以上の団体料金

※小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害をお持ちの方とその介護者は無料

※第3水曜日は65歳以上無料 ※都民の日(10/1[日])は入場無料

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 / 東京新聞

助成：芸術文化振興基金 協賛：株式会社ニコン / 株式会社ニコンイメージングジャパン / 東京都写真美術館支援会員



# TOP MUSEUM

《Self-Portrait (Brother #34)》  
1993年 ゼラテン・シルバー・プリント  
東京都写真美術館蔵



このたび、東京都写真美術館は長島有里枝の個展を開催します。デビュー以来、長島は社会における「家族」や「女性」のあり方への違和感を作品で問い続けてきました。ラディカルさとしなやかさをあわせ持つ、パーソナルな視点にもとづいた長島の表現は、若い世代を中心に支持され、国際的にも評価が高まっています。

長島は武蔵野美術大学在学中の1993年、家族とヌードで撮影したセルフ・ポートレートで「アーバナート #2」展パルコ賞を受賞し、一躍注目を集めました。2001年には、写真集『PASTIME PARADISE』で第26回木村伊兵衛写真賞を受賞。近年では、自身の幼少期をモチーフにした短編集『背中の記憶』で、2010年に第26回講談社エッセイ賞を受賞するなど、写真以外にも活動の幅を広げています。

公立美術館で初めての個展となる本展では、初期を代表する〈セルフ・ポートレート〉や〈家族〉、90年代のユースカルチャーを切り取った〈empty white room〉のシリーズに始まり、アメリカ留学中の作品、2007年にスイスのアーティスト・イン・レジデンスで滞在制作をした植物の連作、女性のライフコースに焦点を当てた新作までを一堂に展示します。

デビューから四半世紀近くが経ち、共同制作など新しい試みも取り入れながら、長島の表現はさらなる広がりを見せつつあります。本展では、作家の「今」が色濃く反映された現在の作品とともに、これまでの歩みを振り返り、パーソナルかつポリティカルな視点にもとづく写真表現の可能性を探ります。

ひとつまみの皮肉と、  
愛を少々。  
そして

長島有里枝

愛を少々。

そして



1



2



3



4



5



6

長島有里枝

1973年、東京生まれ。1995年、武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。1999年、カリフォルニア芸術大学にてMaster of Fine Arts取得。2015年、武蔵大学人文科学研究科前期博士課程修了。1993年、「アーバナート #2」展でパルコ賞を受賞しデビュー。2001年、写真集『PASTIME PARADISE』（マドラ出版、2000年）で、第26回木村伊兵衛写真賞受賞。2010年、『背中の記憶』（講談社、2009年）で第26回講談社エッセイ賞受賞。写真集に『SWISS』（赤々舎、2010年）、『5 Comes After 6』（マッチアンドカンパニー、2014年）など。

【関連イベント】

作家とゲストによるトーク

2017年10月8日（日）14:00-15:30

野中モモ（ライター、翻訳家）×長島有里枝

2017年11月5日（日）14:00-15:30

志賀理江子（写真家）×藤岡亜弥（写真家）×長島有里枝

会場：東京都写真美術館 1階スタジオ 定員：50名

\*当日10時より1階総合受付にて整理券を配布します。

展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

会期中の第2・第4金曜日14:00より担当学芸員による展示解説を行います。

展覧会チケット（当日消印）をご持参のうえ、2階展示室入口にお集まりください。

※事業はやむを得ない事情で変更することがございます。あらかじめご了承ください。



7



8

1:《Matt in Vertical Ramp》、1996年 ゼラテン・シルバー・プリント/2:《not six》より、2000年 発色現像方式印刷/3:《empty white room》より、1994年 発色現像方式印刷/4:《Rose and Wood Turner》、《家庭について/about home》より、2015年 発色現像方式印刷/5:《母、息子、犬》、《Family Portrait》より、2005年 発色現像方式印刷/6:《Tank Girl》、1994年 発色現像方式印刷/7:《家族》より、1994年 発色現像方式印刷/8:《わたしたちの部屋(朝)》、《SWISS》より、2007年 発色現像方式印刷 8は東京都写真美術館蔵 8以外は作家蔵

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内  
Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp

JR 恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。  
当館には駐車場がありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

東京都写真美術館  
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

